

2008. 8月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・まちづくり交付金情報交流協議会定例総会及び講習会の開催 P 1～2
- ・都市みらい講演会のご案内 P 2
- ・「自治体総合フェア」に出展 P 3
- ・会員紹介：株式会社新日鉄都市開発 P 4～5
- ・第3回「都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会」が開催 P 5
- ・機構の活動状況 P 6

《ハイライト》

- ・まちづくり交付金情報交流協議会定例総会及び講習会の開催
- ・「自治体総合フェア」に出展

§ まちづくり交付金情報交流協議会定例総会及び講習会の開催

「まちづくり交付金事業」を活用して、地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり交付金情報交流協議会定例総会」が、7月17日（木）全国321地方公共団体の出席のもと、東京都千代田区のシェーンバッハ・サポー（砂防会館）において開催されました。

本協議会会長の中村時広松山市長並びに国土交通省都市・地域整備局の佐々木晶二まちづくり推進課長にご挨拶をいただいたあと、運営規則の一部改正、平成19年度事業報告及び収支決算、並びに平成20年度事業計画及び収支予算について審議を行い、承認を得ました。また、役員改選が行われ、会長に中村時広氏（松山市長；再任）、副会長に中田宏氏（横浜市長；再任）、監事に河島和博氏（岐阜市都市建設部長；再任）並びに鈴木一則氏（長井市建設課長；新任）が選出されました。

なお、総会に先立ち、下記のテーマで講習会が行われました。また、総会の終了後には、第3回「まち交大賞」の表彰式が行われました。

【定期総会における議案、報告】

- 第1号議案 運営規則の一部改正（案）
- 第2号議案 平成19年度事業報告及び収支決算（案）



まちづくり交付金情報交流協議会第4回定期総会の様子



中村会長



第3号議案 平成20年度事業計画及び収支予算（案）
 第4号議案 役員改選
 報告 H19共同研究について（地域の担い手との連携方策に関する検討調査）

【講習会におけるテーマと講師】

テーマ1「まちづくり交付金の制度概要と事業評価」
 講師 国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課
 都市総合事業推進室 調整係 鈴木香菜子氏
 テーマ2「民間の担い手によるまちづくりの推進」
 講師 国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課
 企画法制係長 小野健太氏
 テーマ3「まち交大賞 国土交通大臣賞受賞地区の概要
 （松山市松山中心地区）」
 講師 松山市総合政策部
 坂の上の雲 担当部長付主査 兵藤一馬氏



第3回まち交大賞 各受賞者



講習会の様子

§ 都市みらい講演会のご案内

人口減少、地球環境問題の深刻化、中心市街地の衰退など都市計画・まちづくりをとりまく環境は近年大きく変化しています。国土交通省ではこれらの課題に対処するため、今後、数年間を掛けて都市計画やまちづくりの制度を抜本的に見直す方針を明らかにしています。

今回の「都市みらい講演会」では、国土交通省においてこれらの政策を統括しておられる石井審議官を講師にお招きし、今、日本の都市計画・まちづくりに一体何が起きているのか、また、国はどう対処しようとしているのかなどについて率直にお話を伺わせていただくことといたしました。また、講演の後には質疑応答の時間を設け、皆様と親しく意見交換をしていただくこととしております。どうか万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 : 平成20年9月26日（金）午後2時～3時30分（開場1時40分）
2. 場所 : ルポール麹町 ガーネット
3. 講演内容 【講師】 石井 喜三郎 国土交通省大臣官房審議官（都市・地域整備局担当）
「都市計画・まちづくりの最近の動向」
4. 定員 : 80名（無料）

定員になり次第締め切らせていただきます。

■問い合わせ先 （財）都市みらい推進機構 TEL03 (5976) 5860 篠原、仲本
 kikaku@toshimirai.jp



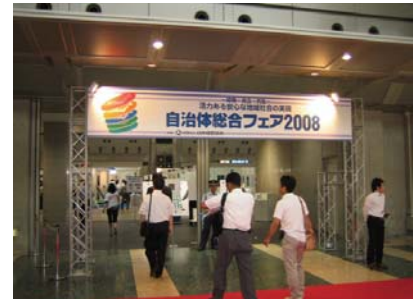
§ 「自治体総合フェア」に出展

今年も当機構では、7月16日（水）～18日（金）に東京ビッグサイト（東京国際展示場）東2ホールにおいて開催されました、（財）日本経営協会主催（後援：国土交通省・経済産業省・総務省他）の「自治体総合フェア」に出展いたしました。

このフェアは、地方自治法施行50周年の節目の1997年（平成9年）に、地方自治の本旨である、民主的にして能率的な行政の確保とその健全な発展に寄与すべく第1回目を開催し、以来毎年、自治体経営の革新を推進し、地域住民が真に豊かさを実感できる魅力ある地域社会の実現を目的に開催されています。

今回は『活力ある安心な地域社会の実現～協働・自立・共生～』をテーマに開催されました。展示構成は、「電子自治体推進ゾーン」「危機管理ゾーン」「省エネ環境ゾーン」「活力まちづくりゾーン」の4ゾーンに区分され、当機構は「活力まちづくりゾーン」の1画に出展し、全国の自治体職員・NPO関係者・民間企業関係者等が多数来店され、有意義な意見交換をさせていただきました。

会期3日間の来場者数は12,100人でした。（主催者発表）



【展示パネル】

◇まちづくり交付金制度支援

まちづくり交付金制度、まちづくり交付金情報交流協議会

◇まち交大賞

第3回計画大賞（交通大臣賞）受賞地区、まち交ネット（まちづくり交付金情報システム）

◇幅広いまちづくり支援活動

全国に展開する調査活動、都市拠点形成から土地活用支援まで、まちづくり情報交流コーナー）

◇土地有効活用支援

インターネットを通じた土地活用情報の提供－土地活用バンク－

◇模範的土地活用事例の表彰

土地活用モデル大賞（表彰プロジェクト）

◇民間提言型自主研究・地方活性化支援

民間活力導入による提言型自主研究（品川拠点研究会）、地方の元気再生事業支援





§ 会員紹介：株式会社新日鉄都市開発 持続発展する街づくりの実践——環境共生の街づくりへの取り組み

新日鉄都市開発は、新日鉄グループの6つの事業セグメントの一つとして都市開発事業を担っています。製鉄所周辺の街づくりを原点とした独自のノウハウを活かし、安全・快適で人々の暮らしに必要な住・職・遊・学のすべてがそろった持続発展する街づくりを実践しています。

また新日鉄都市開発では、早くから環境保全の視点に立ち、自然と共生する街づくりに取り組んできました。その中から、福岡県北九州市の東田地区で進めている環境共生住宅「リビオ東田ヴィルコート」と、神奈川県川崎市「さくらが丘Isaac（アイザック）日吉」で新たに提案するハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」をご紹介します。

環境共生の街づくり「リビオ東田ヴィルコート」（福岡県北九州市）

福岡県北九州市の東田地区では、約120haに及ぶ広大な敷地において、地域や行政と一体となり環境共生街づくりを進めています（八幡東田総合開発）。

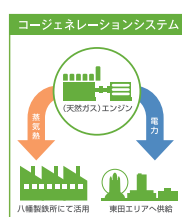
その一環である環境共生住宅「リビオ東田ヴィルコート」は、CO₂の排出量を石炭火力発電と比べて約3分の1に抑制できる天然ガスコージェネ発電や、170kW相当の電力をつくる太陽光発電システムなどの導入により、CO₂排出量を次世代省エネルギー基準に対して約30%削減。全国で初めて、環境省の「街区まるごとCO₂20%削減事業」に採択されました。



八幡東田総合開発全景



「リビオ東田ヴィルコート」完成予想図



天然ガスコージェネ発電による電力をマンションの専有・共用各部分に供給。クリーンエネルギーである天然ガスによる発電は、CO₂の排出量を削減し環境への負荷を軽減する。



マンション屋上に太陽光パネルを設置。170kW相当の電力をつくり、マンションの共用部分に供給する。森林面積に換算すると東京ドーム約48個分に相当するCO₂を削減（約62t/年）。



環境共生住宅団地「さくらが丘Isaac（アイザック）日吉」（神奈川県川崎市）

神奈川県川崎市で進めている総戸数345戸の戸建分譲事業「さくらが丘Isaac（アイザック）日吉」は、「環境・健康・安心」をテーマに、約8,000㎡の公園とケヤキなどの既存樹を活かし、約7,000本の樹木に包まれた住環境を創造。開発当初の2003年に、すでに神奈川県で最初の「環境共生住宅団地」に認定されています。

そして2008年新たに、「さくらが丘Isaac（アイザック）日吉」で、環境建築設計に省エネルギー設備を加えたハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」を提案。自然エネルギーを有効活用することで化石燃料の使用を抑え、居住時のCO₂排出量を一般住宅と比べて最大約60%削減できます。



ハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」

環境建築設計手法（パッシブ・エコ）と省エネルギー設備設計手法（アクティブ・エコ）を取り入れ、最高レベル*1の環境性能を実現。

*1 最高レベル

建物の環境性能を評価・格付けする「CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）」で最高のSランクを獲得。



環境共生住宅団地認定「さくらが丘Isaac（アイザック）日吉」ケヤキなどの既存樹を活かした緑豊かな街並み、透水性舗装、有害物質を除去する舗装材の使用、クリーンな空気を追求した住まいづくりなどが評価されている。

§ 第3回「都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会」が開催

国土交通省 都市・地域整備局
都市・地域政策課

1. 日 時

平成20年7月23日（水）16：00～18：00

2. 場 所

国土交通省11階 特別会議室

3. 議事概要

- ・宗田 好史 専門委員、松橋 隆治 専門委員、松谷 明彦 専門委員、小浦 久子 委員、交告 尚史 専門委員からのプレゼンテーションと意見交換が行われました。

4. 資 料

国土交通省のホームページ（社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会、都市計画部会）に掲載されています。

URL： http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/city01_sg_000016.html





§ 機構の活動状況

日	7月	日	8月
16-18 24	近畿歴史まちづくりヒアリング（藤井寺市、湯浅町） 自治体総合フェア2008への出展 新宿区と意見交換・歌舞伎町ルネッサンス	6 20 26	東京都都市づくり政策部と意見交換 第2回近畿管内地域活性化まちづくり研究会（近畿地整局） 土地活用モデル大賞第2回審査委員会

【機構関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

10 25	幹事会 総会	18	平成20年度監事監査
----------	-----------	----	------------

《地方の拠点まちづくり協議会》

		1	評議員会・総会
--	--	---	---------

《都市地下空間活用研究会》

3 8 10 22 31	国土交通省渡邊調整官打合せ（利活用） 三菱地所打ち合わせ（新たな都市空間） 八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会 新たな地下利用像構築検討委員会大規模地下空間検討WG 八重洲幹事会（世話人会）	1 6 7 19 25 25 26 27	八重洲・JAPIC意見交換会 国土交通省渡邊調整官打ち合わせ（懇話会データ） 新たな地下利用像構築検討委員会地下利用施設検討WG 第27回定例懇話会（松谷技術審議官） 新たな地下利用像構築検討委員会大規模地下空間検討WG 八重洲幹事会（世話人会） 新たな地下利用像構築検討委員会大深度ネットワーク検討WG 八重洲分科会（市ヶ谷）
--------------------------	--	---	---

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

3	技術研究発表委員会	21	論文調整打合せ会
---	-----------	----	----------

《まちづくり交付金情報交流協議会》

17 28	監事監査（岐阜市・二本松市） まちづくり交付金情報交流協議会定期総会 まちづくり交付金主管課長会議（北陸ブロック）		
----------	---	--	--

§ 人事異動のお知らせ

【退任】（7月31日付）

企画調整部調整課長 岡田 泰祐

（財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他